

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 9週

集計期間 2/24-3/2

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症		1	1											2
咽頭結膜熱			1											1
溶連菌感染症							5	4				1		10
感染性胃腸炎		1	7	4	5	14	3	6	7	10	6	13	4	80
水痘				2		1	1	1						5
手足口病														
伝染性紅斑														
突発性発疹		2	1											3
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu	1	1	3	10	3	16	28	23	8	22	14	53	1	183
小児科定点総数 284 増減 -7 前週比 97.6% 定点当たり 47.3														
病院:開業医 7:277 増減 -9:+2														
内科Flu							3	1			1	10	7	25
インフルエンザ総数 230 増減 -5 前週比 97.9% 定点当たり 25.6														
小児科:内科 183:47 増減 -9:+4														

総数284、前週の97.6%と、ほぼ不変です。

首位は、インフルエンザ、前週比95%、定点当たり30.5とほぼ不変です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比104%、定点当たり13.3と、ほぼ不変です。

3位は、溶連菌感染症、前週比110%、定点当たり1.6と、僅かに増加です。

以下は、インフルエンザに抑圧されて、全て、定点当たり1以下で少数です。

RSウイルス感染症2名、咽頭結膜熱1名が目立ちます。

内科も含むインフルエンザ、前週比97.9%でほぼ不変、9定点中9定点から報告です。

小児科定点は、A型56、B型86、型報告無41で、A型が39.4%になりました。

内科定点では、A型20、B型27で、A型が42.5%とどちらも、Bが6割になりました。

A型は減少していますが、B型の増加で、総数維持の状態です。

3/2小児科休日当番医、112名来院、インフルエンザ81名検査して、35名陽性、

A型14名、B型21名と御報告をいただいています。

まだまだ、流行期の様です。